

大山の森だより

2015年冬号



大山に三度雪が積もれば、麓にも雪が降る。と言われてはいますが、

今年は、大山の初冠雪と大山寺地区周辺の初雪が同時にやってきました。

今年の初冠雪は2015年11月25日
大山町役場から、25日午前10時頃に、
大山の標高約1300mあたりまで
白くなっている事が確認されました。

今年の初冠雪は、平年値の11月1日より
24日遅く、昨年より22日遅いものとなります。
記録のある中では、もっとも遅い初冠雪となりました。



大山の積雪の様子



11月26日(豪円山)



11月27日(博労座)



12月3日(博労座)



12月4日(博労座)



12月8日(博労座)

雪は降っては解け。降っては解け。
を何度か繰り返しています。

12月初旬は雪が無くとも、
例年、12月中旬以降は
道路にも積雪があるようになります。

発行：自然公園財団 鳥取支部 大山事業地
〒689-3318鳥取県西伯郡大山町大山40-33 (大山情報館1階)
TEL：0859-52-2165 FAX：0859-52-2371
URL：<http://www.bes.or.jp/daisen/>

『上を向いて歩けば』

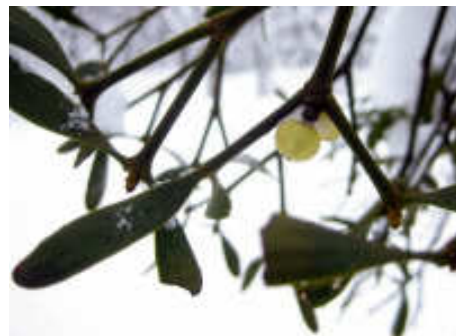
幹から枝分かれしている部分や太めの枝がふたまたになっている処に小枝が折り重なっている所には、鳥たちの巣が残っている事があります。古巣は目を凝らして見ないとよく分かりませんが、この時期になると目立ってくるのが、木々の間に見える真ん丸の物体。



これは、“ヤドリギ”と呼ばれるもので、クリ、ブナ、ミズナラ、ケヤキ、エノキなどの落葉樹が宿主となり、その幹から水分などを吸い取って生育しています。

ヤドリギの仲間は、葉緑体を持っているので光合成は自分で行いますが、水分や養分などは宿主の植物から吸収して生きています。寄生されたところよりも先は、根からの栄養分が十分送られなくなり、細くなったり弱ったりして、枯れたり折れてしまう事があります。また、寄生された箇所は、コブのように大きく膨らむことがよく見られます。

ヒヨドリやヒレンジャク等の野鳥が好んでヤドリギの実を食べ、種子を取り巻く粘液質は、消化管を通っても粘着性が失われないので、種子を含んだ粘着性のある糞となり、粘液によって樹皮上に張り付くと、そこで発芽して樹皮に向けて根を下ろし、寄生がはじまります。(種子の発芽には鳥の体内を通過する必要があると言われています。)



ヤドリギ(ビャクダン科ヤドリギ属)
別名:宿り木、寄生木
学名: *Viscum album* subsp. *coloratum*
"Viscum"は、ラテン語のとりもちを語源とし、果実の内部に粘りがあり、種子がそれに包まれている事に由来すると言われている。
"album"は、ラテン語で白いを意味する。



ちなみに、「もち」と言えば、お正月に食べるあの“お餅”が有名ですが、その食べるお餅が主流になってからは、もともと「モチ(糰)」と呼ばれていたものが、もとの語形から引き離されて、(モチヒ(餅)モチキ→モチイ→モチ) トトリモチ(鳥取糰)→トリモチ(鳥糰)になったと言われています。

郵便で届いた住所を見ていると、たまに、“取鳥県”だったり、島根県大山だったり、する事がありますが、無事届いていたりします。郵便番号が合っていれば届くことが多いですが、何か送る際は、書き方は正確に…。(最近だと蟹取県でも届くのかな?)

早春、枝先に黄色い小さな花を咲かせます。



『今年の雪の量は…？』

ここ近年は、12月に入っすぐは積雪がほとんど無く、12月23日(スキー場開きの頃)になると、少しずつ雪が積もるようになってきています。

そして、1月から2月に掛けて雪が多くなり、3月になると雪が無くなる。と言う傾向が強いようです。

今年は暖冬と予報が出ていますが、さて雪の量は…。



2014年



2013年



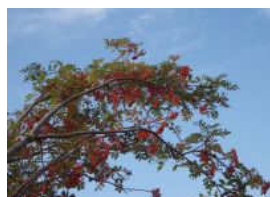
2012年



2011年



2010年



2009年



2008年



2007年

大山情報館周辺の積雪状況(cm)

年度	12/1	12/23	1/1	2/1	3/1
H17(2005)	0	147	167	90	50
H18(2006)	0	0	20	15	0
H19(2007)	0	0	45	95	150
H20(2008)	0	10	45	95	0
H21(2009)	0	25	55	34	0
H22(2010)	0	0	90	260	0
H23(2011)	0	70	60	270	80
H24(2012)	3	2	10	10	0
H25(2013)	0	10	80	30	0
H26(2014)	0	20	25	30	0

ナナカマド多め
 ナナカマド少なめ
 ナナカマド多め
 ナナカマド多め
 ナナカマド多め
 ナナカマド少なめ
 ナナカマド豊作
 ナナカマド少なめ
 ナナカマド多め
 ナナカマド少なめ

2015年12月1日時点では、積雪0cm。ナナカマドはふつう～やや多め。

※スキー場は圧雪になっている(&人工降雪)ため、3月末頃、年によっては4月中旬くらいまで雪が残ります。

大山情報館周辺の積雪状況 12月～3月(1日あたりの平均値と積雪の最大値)

年度	平均(cm)	最大(cm)	最も雪が多かった日
H17(2005)	4.6	250	2006.1/8
H18(2006)	1.5	50	2007.2/3
H19(2007)	3.5	240	2008.2/25
H20(2008)	2.9	200	2009.1/16
H21(2009)	3.7	110	2010.1/15
H22(2010)	7.0	285	2011.1/29
H23(2011)	8.8	280	2012.1/26
H24(2012)	3.8	70	2013.1/19
H25(2013)	7.3	250	2014.1/18
H26(2014)	5.2	100	2015.2/14



2012年1月12日



2007年12月23日

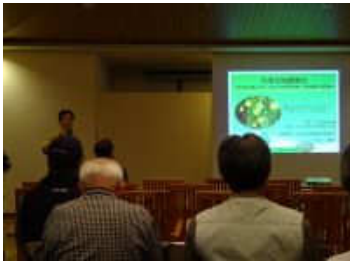
※この数値は、大山情報館で独自に計測しているもので、機械測定等による正確な数値ではありません。

大山周辺で昔から言われている「ナナカマドが多い年は大雪になる」

どれぐらいの精度があるのか、ここ最近のナナカマドの穂り具合と積雪状況を調べてみました。

(ナナカマドが多いか少ないかは大山寺地区の地元民基準。)

『大山周辺であったイベント』



9月30日に、外来生物講習会がありました。
そして翌日は、外来生物対策協働型事例講習会が開催されました。初日は座学で、翌日は強風の中でしたが、外に出てブナなど外来生物の抜き取り方法等を学びました。



10月3日は、大山キャリアアップイベント。
頂上木道に使う栈木の持ち上げと頂上の保全作業で使う一木一石運動用の石の持ち上げに協力頂きました。



10月17日、18日は皆生・大山SEA TO SUMMITが開催。17日のシンポジウムでは、大山の頂上を保護する会から、乾顧問が基調講演を行いました。そして18日は、ケネディ駐日大使もイベントに参加していました。



10月4日
大山まきは祭



10月11日、12日
とっとりバーガーフェスタ



10月24日
大山さんのお祭り(稚児行列)



10月31日
山の話を語る大山集会

イベント予告(下記は全てスノーシューを使って歩く観察会です。)

『大山冬芽観察会』

1月16日(土) 9:30~13:00、¥2000
ふわふわネバナバ。もっさり。
色々な冬芽を探して歩いてみよう!

『アニマルトラックング』

2月6日(土) 9:30~13:00、¥1000
動物の足跡に、食べ残し、落し物。
冬だからこそ、分かるものもたくさんあります。

『巨大ブナ観察会(中の原)』

2月20日(土) 9:30~13:00、¥2000
大山の巨大ブナ。
冬の時期だけのお楽しみ。

『奥大山巨木観察会』

3月19日(土) 9:30~15:00、¥1000
今は無き鏡ヶ成の巨大ブナ。
でも、きっと新しい発見が!

参加費の中に保険代、昼食代(鏡ヶ成を除く)が含まれます。
スノーシュー貸出の場合は、別途1000円が必要です。
1/16~2/20の観察会は情報館集合、3/19は鏡ヶ成集合です。
内容等一部変更になる場合がありますので、事前にお問合せ下さい。
(上記の観察会は全て事前予約が必要です。)

問合せ：自然公園財団鳥取支部大山事業地
鳥取県西伯郡大山町大山40-33(大山情報館1階)
電話：0859-52-2165

